

1 教育目標

《大好き!晴海台!~ふるさとを知り、ふるさとを知り、ふるさに貢献できる子ども~》

めざす児童の姿

- しっかり勉強する子ども 「知」…確かな学力 正しい学習習慣
- きちんと決まりを守る子ども 「徳」…望ましい人間関係
- もっとふれ愛ことばを使う子ども 「体」…正しい生活習慣

2 学校経営方針

基本方針(ミッション)

諸法令等に則り、日々の教育活動を省察しつつ改善を図り、児童に確かな学力を身に付けさせることを通して、正しい生活及び学習の習慣と望ましい人間関係に基づいた協働精神を持つ児童を育成する目標を、学校・家庭・地域が共有し、自他に誇れる校風を醸成する。

3 重点目標

- G1-1 確かな学力の向上を図ります
(学び合い・学び続ける学校)
- G1-2 健やかな心と体を育成します
(語り合い・響き合う学校)
- G1-3 学校・家庭・地域の連携による教育の充実を図ります
(語り合い・響き合う学校)(整っている学校)
- G1-4 G1-4 子どもが安全・安心に学べる教育環境を整備します
(整っている学校)

4 自己評価

領域	項目	質問内容	アンケート集計 肯定的割合%				分析及び改善策
			下段の()内は昨年度				
			児童	保護者	教職員	地域	
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	90 (89)	97 (93)	100 (93)	92	業務改善については昨年度を大きく上回る良好な結果となった。組織運営のポイントも高くなっていることから、分掌事務の適正化が図られたことが理由として考えられる。今後も継続して業務改善に努めていく。
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	91 (93)	95 (94)	93 (80)	100	
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			100 (73)		
	業務改善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			73 (47)		
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	87 (82)	92 (86)	73 (40)	100	全体的に良好な結果となり、特に昨年度、教師の回答でポイントが低かった「児童のルールやマナー」については、70%を超える結果となり、これまでの指導の成果が表れていることがうかがえる。一方で、児童の回答で、「先生が悩みや相談によく応じている」という項目が昨年度よりもやや低い結果となっており、児童に寄り添った対応を心がけたい。
		挨拶をよくしている	95 (95)	91 (86)	93 (67)	100	
		「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ)	81 (89)	83 (84)	87 (67)		
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	88 (94)	88 (89)	100 (93)		
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	82 (82)	86 (90)	100 (100)		
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	96 (97)	96 (91)	100 (93)		
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	97 (98)	96 (98)	87 (73)		
	特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	89 (94)	97 (94)	100 (93)		

確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風の実態に即した教育を行っている	95 (98)	96 (96)	100 (100)	いずれの項目とも高い評価が得られたが、昨年度と比較すると、保護者・教師のポイントが向上した半面、児童の回答が昨年度をやや下回る結果となった。児童が学力向上に関して、より高い目標を意識している結果といえる。	
	学習指導・教育課程	わかりやすい授業を行っている	94 (99)	94 (92)	100 (92)		
		家庭学習の習慣が身に付いている	92 (95)	81 (81)	93 (92)		
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	86 (92)	93 (86)	100 (93)		
		長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである	94 (98)	97 (-)	100 (-)		100
保健・衛生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	92 (92)	98 (94)	100 (93)	食に関する教育活動については、児童への質問が好き嫌いについての質問となっていることから低い結果となった。基本的な生活習慣については一朝一夕には改善が難しいものの、粘り強く継続して指導をしていく必要がある。		
体力向上	基本的な生活習慣が身に付いている	86 (84)	89 (90)	87 (86)			
	体力向上に努めている	90 (92)	94 (94)	80 (93)		100	
食育	食に関する教育活動を行っている	76 (81)	99 (93)	93 (100)			
信頼される学校	安全管理	児童生徒の安全に気を配っている	96 (97)	96 (94)	100 (93)	信頼される学校として高い評価を得た。教職員の自己意識も高まってきていることから、今後も安心安全な学校づくりに努力していきたい。	
	情報提供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	85 (81)	96 (96)	100 (100)		100
	PTA・地区との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている	88 (86)	96 (95)	93 (93)		100
	職員の資質向上	研修が充実し、資質が向上している			100 (93)		
教育環境	環境整備	教育環境が充実し、整備されている	92 (88)	94 (94)	100 (80)	屋根等の大規模な改修が次年度に計画されているものの、施設の老朽化は否めない。軽微な改修等は迅速に対応していく。	
	職場環境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			87 (93)		

地域の方の声

- ・「子どもはルールやマナーを身につけている」に関して、小学校の先生方はよく指導されていることが伝わります。
- ・校長先生のおたよりで学校での児童の様子が細かくわかりやすく、伝わります。
- ・1年生の学級便りをよく拝見するのですが、担任の思いに共感することが多く、勝手ながらコピーさせていただき、学童内で共有したりしています。
- ・何年たっても良い学校だなと感じます。卒業生として地元でお仕事できていることがうれしいです。
- ・領域、項目、内容ともに一刻一刻、一日一日積み上げられていると思います。
- ・6年生(高学年)と対応できた時はほっとした気持ちになることはあります。
- ・下校時の子どもの声は元気があり明るいので、解放感かな?とも思ったりしてます。
- ・家族との交流が「上・中・下」の中で、せめて「中・上」であることが大切です。
- ・(小学校は)集団生活が知識の上に積み上げられ、社会人の基礎作りの大切な場所です。よろしく願います。
- ・学校だよりを頻繁に発行していただき、学校での様子や教育方針、先生方の思いが伝わってきます。
- ・地域を大事にしてください、ぬくもりを感じます。これからもよろしく願います。
- ・ここ2年はコロナの影響で、地域と子どもたちとの交流があまりない。コロナ終息後は少しずつ交流を深めていきたい。

5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

総合的に見て、学校への評価は高いといえる。また、昨年度と比較してもポイントが向上した項目が多く、特に教職員の評価については全27項目中24項目が昨年度の結果以上の評価を得た。これは、昨年度の結果を真摯に受け止め、職員が改善に向けて努力をした結果といえる。その姿勢が保護者に伝わり、保護者の学校に対する評価も高いものになった。一方で、児童の評価については昨年度の結果を上回ったものが全体の4割程度であったことから、子どもたちにもより良い学校づくりに向けての「わかる・見える」工夫が必要ではないかと考える。特に学力向上に関しては、自分たちがやっていることが成果となって表れているということを実感できる場面を増やすことや、自分たちが住む地域の魅力を見つめなおす、総合的な学習の時間の充実など、本校が目指す「ふるさとを知り、ふるさとを愛し、ふるさとに貢献できる子ども」の育成に今後も取り組んでいく。

6 学校関係者評価

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑み、本年度は紙面開催とした。その中で寄せられたご意見や聞き取りで行った意見は概ね良好なものであったが、中には学校外(公園やふれあいセンターにおける子どもたちの過ごし方の中で気になるところがあるというものがあつた。学校での指導はもちろんではあるが、地域と連携・協力しながら児童の健全育成に向けて連携を密にしていきたい。

7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

全体的に良好な結果となった。その中で、学力向上に関しては、児童がより高い目標を意識していることをふまえ、家庭とも連携しながら、自宅での課題への取り組み方や自主学習の充実などを今後も継続して取組を進めていく。また、食に関する教育活動については、学校での指導と併せて家庭への啓発も行い、学校と家庭が同じ方向を向いて、基本的な生活習慣を整えることを粘り強く指導をしていく。コロナ禍により、多くの方に学校での取組を生で見ってもらうことは難しいが、ホームページや学校だよりを通じて、今後も発信を継続していく。